

今月のトピックス

- ・コロナ後遺症外来、婦人科外来の終了について（詳細は2ページに掲載）
- ・看護の日のご案内（詳細は4ページに掲載）

病院からのお願い

院内では必ずマスクの着用をお願いいたします。マスク着用のない方は、診察室への立ち入りをご遠慮いただきます。

ろうさいニュース

第249号 2023年4月1日

労働者健康安全機構 新潟労災病院

〒942-8502 上越市東雲町1-7-12 電話：025(543)3123 FAX：025(544)5210

地域医療連携室 電話：025(543)7190 FAX：025(543)7110

ホームページ：http://www.niigatah.johas.go.jp

院長代理 就任挨拶

院長代理 傳 田 博 司

雪も解けて日増しに暖かさを増し、春の訪れを身近に感じるようになりました。4月1日から入江誠治前院長の後任として、新潟労災病院の院長代理に就任しました。この紙面を借りて皆様にご挨拶を申し上げます。

昨今、少子化と人口減少が問題となっている一方で、高齢者の数は増加傾向にあります。上越市においても2025年には75歳以上の後期高齢者の数は全体の32%以上になると推計されており、医療の需要は増加傾向にあります。一方、医師不足が深刻であり、特に新潟県では人口当たりの医師数が全国平均を大きく下回り、都道府県別の医師数は最下位となっています。こうした状況の中で、これまでと変わらぬ医療の質と安全性を確保するために医療の集約化という議論がされています。医療の集約化とは、単に提供する側の診療規模を縮小させることではなく、医師が不足する中であっても、地域にとってより効率的に安全な医療サービスを提供するための政策を意味します。当院ではこの10数年で医師の減少に伴い、いくつもの診療科がなくなってしまう、地域の住民の皆様にご迷惑と心配をおかけしてきました。しかし、整形外科診療、口腔外科診療、慢性期の脳外科診療に関しては引き続き質の高い医療を提供する所存です。特に整形外科領域では急性期から回復期まで一貫して治療を行えることが当院の強みであり、地域の皆様が安心して受診していただける病院であり続けることをお約束いたします。

3年にわたる新型コロナウイルス感染症は、政府の方針により、今年の5月から感染症分類が2類相当から5類に変更されることが決まりました。しかし、コロナウイルス自体が消滅したわけではなく、再び感染拡大が起こる可能性もあります。院内感染の



蔓延による入院制限は病院にとっても患者さんにとっても大きな問題となるため、今後も全職員が徹底した感染対策を継続いたします。当院は、労働者健康安全機構の理念である勤労者医療と産業保健の強化を長年にわたり担ってきた経験を生かし、今後もその役割を果たすことを目指します。また、高齢者医療の役割も果たしていく所存です。個人としては、整形外科の臨床や病院運営に全力を尽くし、この上越・糸魚川地域の皆様のお力になれるよう研鑽を続けてまいります。今後とも皆様の期待に応えられる医療活動を展開していきますので何卒よろしくお願い申し上げます。

☆☆☆ 院長人事について ☆☆☆

3月31日付け 院長 入江 誠治（定年退職）
4月 1日付け 院長代理 傳田 博司



☆☆☆ 医師の異動について ☆☆☆

採用 (4/1)		退職 (3/31)	
整形外科副部長	さかい 酒井 瑛平	整形外科副部長	染矢 圭一郎
歯科初期臨床研修医	しまだ 島田 奏子	歯科初期臨床研修医	植田 優太

プロフィールについては、次号でお知らせします。

診療科のお知らせ

■ 内科

- ・ 毎週木曜日に上越地域医療センター病院総合診療科 倉辻医師が診療を行っています。
- ・ コロナ後遺症外来は、令和5年3月31日をもって終了いたしました。

■ 糖尿病内科

毎週金曜日に昭和大学医師が交代制で診療を行っています。

4/7 山岸 昌一 4/14 竹鼻 伸晃 4/21 八島 広典 4/28 山岸 昌一

※ 内科、糖尿病内科は原則予約制です。ご予約は地域医療連携室にて承ります。 地域医療連携室（直通）：電話 025-543-7190

■ 婦人科

婦人科外来は、令和5年3月31日をもって終了いたしました。

脳梗塞の治療

脳神経外科部長 青 木 悟

脳卒中は日本人の死因の第4位です（1位は癌、2位は心臓病、3位は老衰）。そして脳卒中は要介護となる原因の第2位です（1位は認知症）。脳卒中には、脳梗塞、くも膜下出血、脳内出血などが含まれます。今回はそんな脳卒中の中で脳梗塞について、最近の治療の変遷を中心に概説します。

脳梗塞とは脳血管が閉塞し神経細胞が壊死に陥る状態です。主に動脈硬化により脳動脈が狭窄/閉塞するアテローム血栓性脳梗塞、心房細動による心内血栓が遊離し脳血管を閉塞する心原性脳塞栓症と、加齢による細小血管の閉塞によるラクナ梗塞に大別できます。

脳梗塞では神経細胞破壊による神経脱落症状が現れます。運動神経の連絡路（錐体路）が障害されれば運動麻痺が生じ、言語中枢の障害では失語が起きます。広範囲の脳梗塞では意識レベルが低下します。通常血圧は高くなります。



2005年10月にアルテプラゼが使用可能になり、発症から4時間半以内ならば点滴での血栓溶解療法が可能となりました。

2010年以後は血栓回収療法の各種デバイスが実用化され、血管内手術で血栓回収が行われます。適応患者さんは上越地域では県立中央病院へ治療を依頼します。

脳梗塞の再発予防はリスク因子の管理と脱水予防、抗血栓薬が主体となります。アテローム血栓性脳梗塞やラクナ梗塞では抗血栓薬のうちの抗血小板薬を使用します。心原性脳塞栓症では抗凝固薬が必要です。脳動脈の高度狭窄により一過性脳虚血発作を繰り返すような場合には血行再建術も適応となります。

動脈硬化の3大危険因子は高血圧症、糖尿病、脂質異常症です。その他喫煙、塩分加療摂取、肥満、運動不足なども動脈硬化の危険因子になります。有酸素運動は3大危険因子全てに良い影響を与えるので、患者さんには積極的に運動をお勧めしています。

抗凝固薬では、2011年から順次発売された新規経口抗凝固薬は、ワーファリン使用中にしばしば見られた脳内出血の合併を激減させました。2016年にプリズバインド、2017年にケイセントラ、2022年にオンデキサと、抗凝固薬使用中に出血性合併症が起きた場合の各種中和薬が発売され、抗凝固薬の安全性が更に高まりました。

抗血小板薬では2021年にエフィエントが脳梗塞にも使用できるようになり、クロピドグレルが利きにくい人（日本人には多い）にも効果の高い再発予防ができるようになりました。

★ 今年も看護の日開催します ★

毎年5月12日は「看護の日」です。そして、12日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」です。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日に制定されました。21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わず誰もが育むきっかけとなるよう、旧厚生省により、「看護の日」が1990年に制定されました。

2020年、「看護の日」は制定から30年を迎えました。今後、少子高齢化が進む中で医療や看護の提供体制を維持するには、18歳人口の18人に1人に看護職を目指してもらう必要があります。そこで、2021年度以降、「看護の日」は若年層へ向けて看護の魅力などを伝えることへ、より注力した事業を行っています。2023年のテーマは「いのちを守るプロとして」となっています。

今回、私達看護師の姿を知っていただくことで、看護師という仕事を知っていただき「看護師っていいな」と思うきっかけになれる様、ポスターを作成し展示することとなりました。また昨年の看護の日のポスターの動画も作成いたしました。

5月10日から19日まで1階待合室に展示いたします。ぜひ見に来てください。



新潟労災病院の理念

“働く人の健康を守り、地域医療に貢献します”



新潟労災病院の基本姿勢

1. 良質で安全な医療を行います。
2. 患者の権利を尊重し、患者中心の医療を行います。
3. 急性期医療、回復期医療を通じ、地域医療における中核的な役割を担います。
4. 働く人の健康を守ります。

患者さんの権利

1. 人間としての尊厳をもって医療を受ける権利
2. 当院の提供する良質で安全な医療を受ける権利
3. 自らの健康状況を理解するために必要な情報を、当院から得る権利
4. 当院の提供する医療の内容および予測される結果について説明を受ける権利
5. 他施設の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求める権利
6. 当院から必要な説明を受けたうえで、自分の自由な意思に基づいて選択し、あるいは拒否する権利
7. 診療に関する記録の開示を求める権利
8. プライバシーが保たれる権利
9. 医療費の報告および医療費の公的援助に関する情報を受ける権利

患者さんの責務



1. 自らの健康に関する情報を正確に医療者に伝える責務
 - ・最適な検査や治療を受けるために、自身の健康に関する情報を詳しく正確に提供してください。
2. 診療等に関して自らの意思を明らかにする責務
 - ・医師から十分な説明を受けた上で、診断・治療方針について、自らの意思を明らかにしてください。
3. 診療等に関する指示や助言を守る責務
 - ・診療を円滑に受けるため、医療従事者の指示や助言を守ってください。
4. 病院の規則に従い職員や他者へ迷惑を掛けない責務
 - ・すべての患者さんが、安全で良質な医療を受けられるように配慮するとともに、当院職員が適切な医療を行うのを妨げないよう協力してください。

健診部からのお知らせ

人間ドック

○胃の検査は内視鏡で行います。

○「がん検診・生活習慣予防コース」「腫瘍マーカー」「アミノインデックス」をオプションとして追加できます。

・料金 44,550円(税込)

・実施日 木曜日 8:15～



身体計測	身長 体重 腹囲 BMI(肥満度)
眼と耳の機能	眼圧 視力 聴力
問診 診察	情報提供と説明 指導
胸部X線	※オプション項目である肺がん CTを追加される場合は省略できます
消化器	内視鏡検査(経鼻又は経口) 便潜血検査(2回法)
腹部超音波検査	肝臓 胆嚢 膵臓 脾臓 腎臓 腹部大動脈
生理機能	呼吸機能 肺年齢 血圧 心電図 心拍数
血液	肝腎機能 血糖 脂質 血球 炎症反応 血液型(初回) 血液凝固検査
尿検査	尿蛋白 尿糖 尿潜血 ウロビリノーゲン PH 比重 沈渣

◇ 胃の検査を希望しない方は、ご相談ください。

◇ 腫瘍マーカー検査を 3,300 円で追加可能です。 男性:CEA,CA19-9,PSA 女性:CEA,CA19-9,CA125

◇ アミノインデックスを 25,300 円で追加可能です。

男性:肺、胃、大腸、すい臓、前立腺 女性:肺、胃、大腸、すい臓、乳、子宮

◇ 前日の夜より、食事や飲んでいるお薬についての注意事項があります。詳しくは、人間ドックの案内をご覧ください。

◇ 1日ドックには、院内食堂「エデン」又は、売店で使用ができる利用券が付きます。

◇ お申込みは、受付日より、約 2 週間後からとなります。予約日の変更、オプション検査の追加や変更についてはお早目にご連絡ください。混み具合により希望日にご予約出来ない場合があります。

◇ 会社等ドック補助金の書類がある場合は、事前にお申し出ください。

お手軽ドック（生活習慣の簡易コース） 13,750 円（税込）

お手軽ドックでは、特定健診をさらに進めて胸部X線、心電図、尿検査を行います。

※予約が必要ですが、来院時間をご都合に合わせて決めていただけます。

身体計測	身長 体重 腹囲 BMI(肥満度) 問診		
血圧	心電図	胸部X線	尿(糖 蛋白 潜血)
血液	肝腎機能 血糖 脂質		

膵がんコース

○膵に特化したエコー、MRI で膵がんの早期発見を目指します。

○コースは、MRI コースがおすすめです！

	内 容	料金(税込)
MRI コース	腹部 MRI 膵臓エコー 腫瘍マーカー(CA19-9)	28,600円
エコーコース	膵臓エコー 腫瘍マーカー(CA19-9)	6,930円

がん検診・生活習慣病予防・感染症コース

★は1日ドック、●はフレイル予防健診に含まれます。

	内 容	料金(税込)
がん検診	①甲状腺	ホルモン測定 甲状腺エコー 8,250円
	②肺	低線量肺CT 9,900円
		低線量肺CT 腫瘍マーカー ※腫瘍マーカーは男女で一部異なります 13,200円
		低線量肺CT アミノインデックス ※アミノインデックスは男女で一部異なります 35,200円
	★③胃	内視鏡 血液凝固検査 16,500円
	★④大腸	便潜血(2回) 1,650円
	⑤肝胆膵腎	★●腹部超音波 肝炎ウイルス(B型、C型) 8,195円
	⑥前立腺	PSA 1,870円
	⑦乳腺	マンモグラフィ 乳腺エコー 10,120円
		マンモグラフィ 6,380円
生活習慣病予防	●⑧頸動脈の動脈硬化	頸動脈エコー 6,050円
	⑨内臓脂肪測定	腹部CT 3,300円
	⑩骨密度	X線(腰椎+大腿骨頸部) 4,950円
	●⑪骨格筋量測定	体成分分析装置(筋肉量) 550円
感染症	⑫肝炎ウイルス	B型(HBs)、C型(HCV) 2,365円
	⑬HIV	HIV 1,430円

フレイル予防健診

○フレイルとは、要介護になる手前のバイタリティが低い状態を指します。

○専門スタッフが、一人ひとりに合わせた適切なアドバイスを行います！

	内 容	料金(税込)
総合コース	基本項目＋嚥下・咀嚼の評価、指導＋運動指導・栄養指導	38,000円
歯科コース	基本項目＋嚥下・咀嚼の評価、指導	33,000円
運動・栄養コース	基本項目＋運動指導＋栄養指導	33,000円

〔基本項目〕

	内 容
身体計測	身長 体重 腹囲 BMI(肥満度) 骨格筋量測定(歯科コース除く)
腹部超音波検査	肝 胆 膵 脾 腎臓 腹部大動脈
血液	肝・腎機能 血糖 脂質 血球計算 炎症反応
尿検査	尿蛋白 尿糖 尿潜血 ウロビリノーゲン PH 比重 沈査
頸動脈エコー検査	頸動脈の動脈硬化の有無
心電図検査	不整脈と虚血性病変の有無
問診・診察・指導	健診の事後指導、総合的な判断と助言(医師) 助言が必要な項目の確認(社会参加の状況、心の健康、認知機能など)、相談窓口の紹介(看護師)
個人指導	歯科指導:嚥下・咀嚼機能の評価、指導(歯科医師、歯科衛生士) 運動指導:骨格筋量測定の結果を基に各種運動の紹介(理学療法士) 栄養指導:食事習慣の把握、低栄養状態予防の指導(管理栄養士)

歯科ドック

○口腔機能低下予防のためのコースをご用意しました！

	内 容	料金(税込)
オーラルフレイル検診	嚥下、咀嚼、舌運動、口腔乾燥、咬合力、医師による診察	8,000円
歯科ドック	う蝕、歯周病の有無、顎関節、X線を用いて顎骨内外と副鼻腔の状態、医師による診察	11,000円

すべて予約制です。下記の方法でご予約ください。

- ① お電話または FAX、医事課0番窓口にてお申し込みください。
- ② ドック・検診申込書をホームページ(<http://www.niigatah.johas.go.jp/>)よりダウンロードできます。

担当:医事課 健診係

電話 025-543-3123 内線(1233) 平日 8:30~16:00

FAX 025-543-7110



散歩道



私が驚愕の事実を知った本を紹介します。紹介する本は「FACTFULNESS」という本です。みなさんは世界の変動についてどれほどご存じでしょうか？私だけでなく世界中の人が度肝を抜かれたのがこの本の内容になります。

ここで質問です。現在、低所得国に暮らす女子の何割が初等教育を修了するでしょう？

A 20% B 40% C 60%

正解がわかりますでしょうか？

今現在世界の75%は中所得国に入り、高所得国は16%、残りの9%が低所得国に分類されると書籍にはデータの元、統計が取られています。この事実を知れば、世界のほとんどの人が中間の位置付けであることが理解できます。

そして先程の質問の答えはCになります。世界の低所得国9%の人たちも6割の女性が学習できる環境にあります。

この本を読み終わり、不安を煽るネガティブなニュースよりも良いニュースに目を向け、正しい事実を知ることが必要だと私は感じました。

是非興味があれば読んでみてください。



(Y・M)